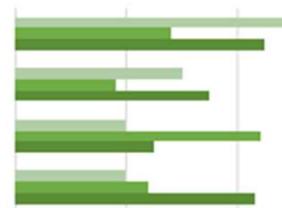


データ利活用ワーキンググループ 取りまとめ



- **データ利活用を推進していくために道が行う方策**

- データ連携基盤
- データ利活用人材の育成

- **WGの意見を踏まえた取組**

- データ利活用事例の周知
- 民間データの活用推進

データ利活用を進めていく上での課題

データ提供者の課題

- 活用できるデータの作り方を理解していない
→PDFやセル結合されたExcelでの公開
- **個別最適**が進み、データを職場で活用することができていない。
- データを**職員自ら利用する**ようにしなければ、データ公開も進まない。
- ニーズが無い場合、データがどう使われるかわからない。

データ利用者の課題

- **データが分散保存されている**ため、どこにデータがあるかわかりづらく、使いづらい。
- 公開されている**データの多くがPDFやセル結合されたExcel**で活用できる形式になっていない。
- 活用できるデータが無い場合、ニーズが生まれない

課題解決の方策

データを一つの場所から
入手できる基盤の整備

活用できるデータを増やす

データ提供する自治体職員
自らデータを活用できる
環境の構築

データを可視化し、データ
の活用事例を増やす

データを業務で使うための
「思考」を鍛える

課題を解決するために行うべきこと

課題解決の方策

データを一つの場所から
入手できる基盤の整備

活用できるデータを増やす

データ提供する自治体職員
自らデータを活用できる
環境の構築

データを可視化し、データ
の活用事例を増やす

データを業務で使うための
「思考」を鍛える

データ連携基盤

データ利活用人材育成

道におけるデータ利活用推進の方策

北海道を「データ利活用先進地」にしたい！

データ連携基盤

利用者がデータを使いやすくすることで、データ活用のニーズを促進する

データ提供者が、使いやすいデータを理解し、活用できるデータが増える

データを地図やグラフなどで可視化し、データの活用方法を理解する

一体的に進める

データ利活用人材育成

活用できるデータを作れる知識を全職員が持てるようにする

データを業務で活用できるように思考の切り替えを行う（個別最適→全体最適）

データ連携基盤

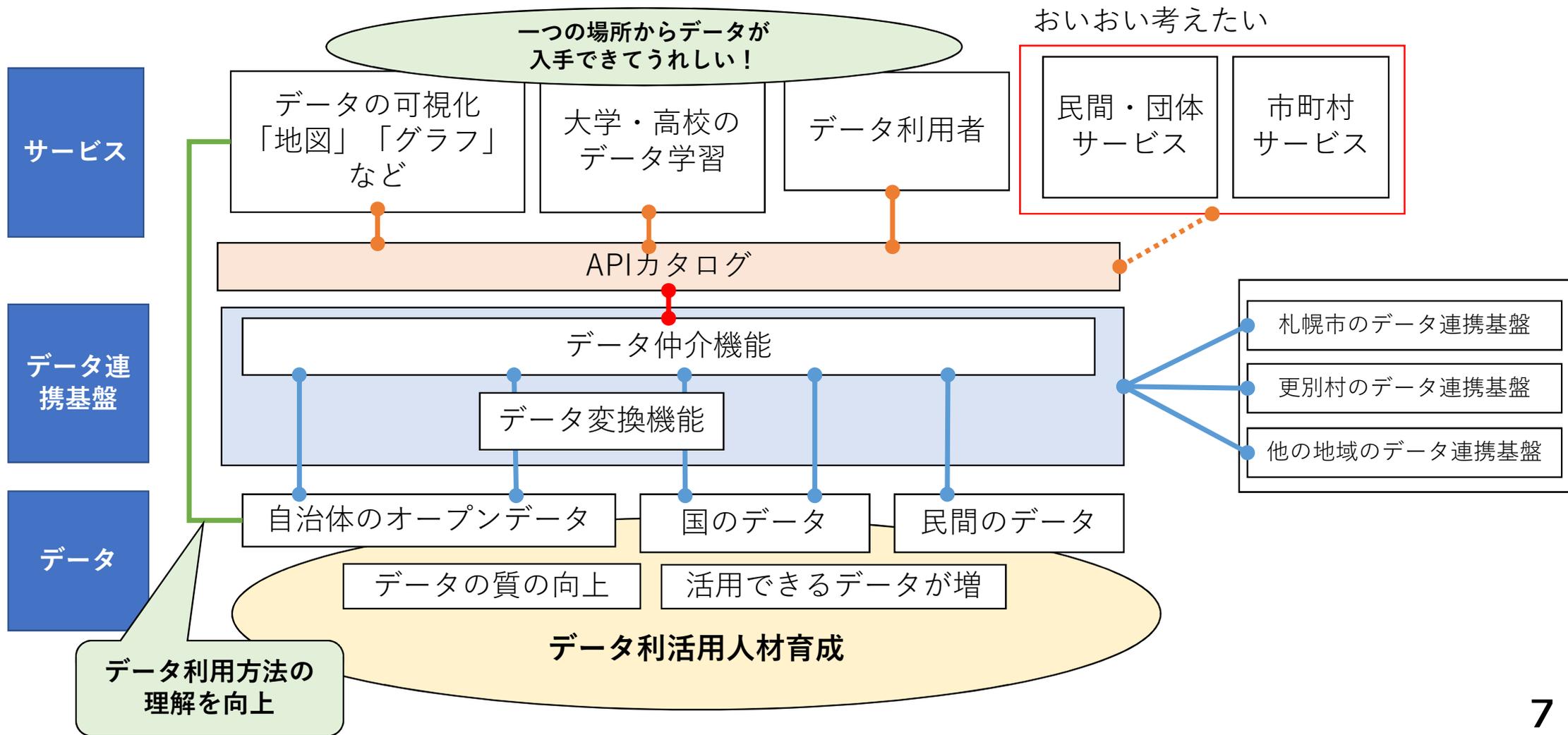
目指すべき姿

- 道、179市町村、国、民間などのデータを連携し、目的やエリアで必要な**データをワンストップで入手**することができる。
- データを可視化し、**データを活用のニーズ**を掘り起こす。
- 連携基盤を活用して、**産学官が連携したデータ活用**が行われている。

課題

- 目的により構築する連携基盤の規模はピンキリ。適切な規模を見極める必要がある。
- データが無ければタダの空箱になるので、十分な活用できるデータが必要。
- 市町村が利用しやすい基盤にしなければ、住民に対してのサービス向上にならない。
- すでに構築している市町村のデータ連携基盤とどうつなげていくか検討が必要。

データ連携基盤



データ利活用人材育成

目指すべき姿

- データを提供する自治体職員全員が「活用できるデータ」が作れるようになっている。
- 業務でデータを活用できる「思考」を持つ職員が一定数いる。
- データを使って、業務を「全体最適」にする。

課題

- 活用できるデータを作っても、どう使われるかわからない。
- 業務にデータ活用するためには、業務改善もセットが必要。
- 大人が学び直すためには「資格」などのモチベーションが必要→どこが資格を発行するか？
- データ利活用人材の必要性を組織全体で認識する。

そのほか：データ利活用事例の周知

WGでの意見

- データをオープンにしたことによってこんないいことがあったという事例があるとよい
- データを出すことで（民間などが）データ可視化して分析してくれるという事例を明確に伝えられると、（上司など）説得しやすい。

何をするか

- 道庁の庁内保有データ調査などを元に、データの活用を促すイベントを実施
 - 高校、大学などの学生を巻き込んでできないか。
 - 札幌市のAI道場などと連携できないか。
- データの要望を常時受け付ける窓口を設置
- オープンデータラウンドテーブルの拡大
- データ活用事例のWeb等での発信

そのほか：民間データの活用促進

WGでの意見

- データを公開することでオープンな会社であるというイメージアップにはなるので、データを公開するというモチベーションにはなる。
- マスク販売情報など公共性の高いデータは世の中に開放した方がプランディング上も良い。オープンにする価値はある。
- 公開するためのデータを作るためにもコストがかかる。データ作成のための補助金などがあればデータ公開が進む可能性がある

何をするか

- 民間のデータ利活用についてはWGにより引き続き検討。
- 補助金に関しては目的と効果を吟味する必要あり。
- 札幌市の「データ取引所」に期待。

意見交換で議論いただきたいこと

意見交換でお話しいただきたいこと

- 2月に開催予定の親会議へ、先ほど説明したデータ利活用の推進を行うために必要なこととして、
 - データ連携基盤
 - データ利活用人材の育成を進めたいと報告したいと考えています。
報告に際し、必要なことをご教示いただければと思います。
- そのほか親会議へ報告、提言するべきことがあれば、ご意見をいただければと思います。